

令和2年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 医学系研究科
氏 名 山崎英俊

活動テーマ	歯科のない病院における口腔ケアの現状の把握と標準化の試み
実施期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>初年度である昨年度は、本テーマを推進するために、県内94病院を対象にアンケート調査を行い、歯科のある病院と歯科のない病院に分類し、解析を行った。また、歯科衛生士を中心に本事業の説明を行った。</p> <p>2年目は、引き続きアンケートの詳細な解析と口腔健康管理を希望する病院の訪問調査を計画、病院の選定を行ない、選定された病院職員を対象に研修会を実施した。口腔水分計（ムーカス[®]）の効果を評価するため、歯科衛生士学生に講義・実習を実施するとともに、成人の口腔内の浸潤度を測定した。</p> <p>3年目となった本年度は、選定された病院に介入、口腔内スコア等をデータ化し、評価を行った後、歯科衛生士配置事業を進める予定であったが、残念ながらコロナ感染症の感染拡大により、計画を断念せざるを得ない結果となった。しかし、この研究をテーマに医科歯科連携部会、三重県歯科衛生士会、松阪口腔ケアステーションで報告会を行い、今後の課題等についてディスカッションをする機会を得た。また、歯科衛生士学生に対し、今後の歯科衛生士業務の広がり役割について講義を実施した。</p> <p>1) 活動について協議 令和2年8月・10月、令和3年1月・2月</p> <p>2) 三重県歯科衛生士会にて本事業報告実施（Zoom） 令和3年1月17日 担当：山崎英俊・芝田登美子・福森哲也・近田紀子 丹羽友美・前田尚子</p> <p>3) 医科歯科連携部会にて本事業の報告（口腔ケアステーションの内容を含む） 令和3年 1月21日 担当：近田紀子・山崎英俊・芝田登美子</p> <p>4) 松阪口腔ケアステーションにて研修 口腔ケア研修会の実施 令和3年2月13日 担当：山崎英俊・近田紀子・前田尚子</p> <p>5) 三重県立公衆衛生学院にて講義 令和3年2月15日 担当：山崎英俊・丹羽友美・前田尚子</p>

(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり）

がん患者の周術期等における口腔ケアや歯科治療を多職種が連携・協力して進めることにより、各種がん治療の副作用・合併症の予防や軽減など、がん治療効果の向上およびがん患者の療養生活の質の向上を目指すことを目的とし、平成 25 年に三重県、三重大学医学部附属病院がんセンターが中心となり活動している三重県がん診療連携協議会、三重県歯科医師会の 3 者ががん患者医科歯科連携協定を締結し、連携・協力してがん患者が口腔ケアや歯科治療等の口腔管理を行うことができる体制整備を継続して行っている。本活動は、病院での医科歯科連携推進による口腔管理体制の推進を図るとともに、歯科のない病院への歯科衛生士の配置サポート及び歯科衛生士養成学校での本分野での指導者の養成も含まれ、今後の三重県の医科歯科連携の推進により県民の口腔衛生の向上を目指す画期的な取り組みである。

(3) 共同実施者との連携状況

事業打合せ会議を 4 回開催した。

（開催日 令和 2 年 8 月・10 月・令和 3 年 1 月・2 月）

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

平成 25 年に三重県、三重大学医学部附属病院がんセンターが中心となり活動している三重県がん診療連携協議会、三重県歯科医師会の 3 者ががん患者医科歯科連携協定を締結し、連携・協力してがん患者が口腔ケアや歯科治療等の口腔管理を行うことができる体制整備を継続して行っている。本活動は、病院での医科歯科連携推進による口腔管理体制の推進を図るとともに、歯科のない病院への歯科衛生士の配置サポート及び歯科衛生士養成学校での本分野での指導者の養成も含まれ、今後の三重県の医科歯科連携の推進により県民の口腔衛生の向上を目指す画期的な取り組みである。がん患者の周術期等における口腔ケアや歯科治療を多職種が連携・協力して進めることにより、各種がん治療の副作用・合併症の予防や軽減など、がん治療効果の向上およびがん患者の療養生活の質の向上を目指せると考えており、本事業で得られた成果は、大学における今後の口腔衛生のあり方に関わる医学教育・研究に大いに貢献する事業であると考えている。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

① 三重県歯科衛生士会本事業報告の実施 令和 3 年 1 月 17 日

開催場所：Zoom にてオンライン開催

対 象：三重県歯科衛生士会会員 30 名

内 容：医科歯科連携調査報告

ディスカッション

講 師：共同研究者 福森哲也 ・ 前田 尚子



② 松阪口腔ケアステーションの研修会実施 令和3年2月13日

開催場所：松阪歯科医師会

対象：口腔ケアステーション歯科衛生士（11名）

内容：ケアステーション活動報告
ディスカッション

講師：近田紀子・小山恭子



③ 三重県立公衆衛生学院にて講義

開催場所：三重県立公衆衛生

対象：歯科衛生学科 1年生（30名）

内容：講義・個人ワーク・発表

講師：丹羽 友美



(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について
最終年度である R2年度はコロナの蔓延により、残念ながら、本事業の開始時に建てた実施計画を大幅に変更せざるを得なかった。しかし、R1年度のアンケート調査や医科歯科連携協議会での議論から、歯科のない病院における口腔ケアを専門に行う衛生士の需要や必要性が非常に高いことがわかった。アンケート調査より選考し、実際の口腔ケアの実施を踏まえた代表的な病院での口腔ケアの説明会は行うことができ、看護師を含む多くの医療関係者に口腔ケアの重要性の理解をいただいたが、実際の口腔ケアの実践は行うことができなかった。R2年度の医科歯科連携事業で本事業の内容説明、協議を行い、現在、県と歯科医師会により行われている口腔ケアステーションの事業と本事業の相違点や継続の必要性について協議した。また本事業の共同実施者と歯科衛生士会の協力を得て、数度の研修会を行い、多くの歯科衛生士に本事業がいかに重要であるかを紹介し、これまでの口腔ケアステーションの事例についても勉強会を開いた。三重県の健康福祉部（共同実験者の芝田課長）より、本事業を口腔ケアス

	<p>テーションの事業に組み込み、歯科のない病院における衛生士の口腔ケアのサポート体制を進めていただくということになった。</p> <p>また、県立公衆衛生学院で口腔ケアの授業や特に歯科衛生士の事業内容を啓蒙するような授業を継続的に行っていただけることになった、以上から、当初の事業予定はコロナにより不十分となったが、口腔ケアの啓蒙、口腔ケアステーションでの継続的な事業かということで当初の目的は十分に達成されたと判断した。</p>
--	--